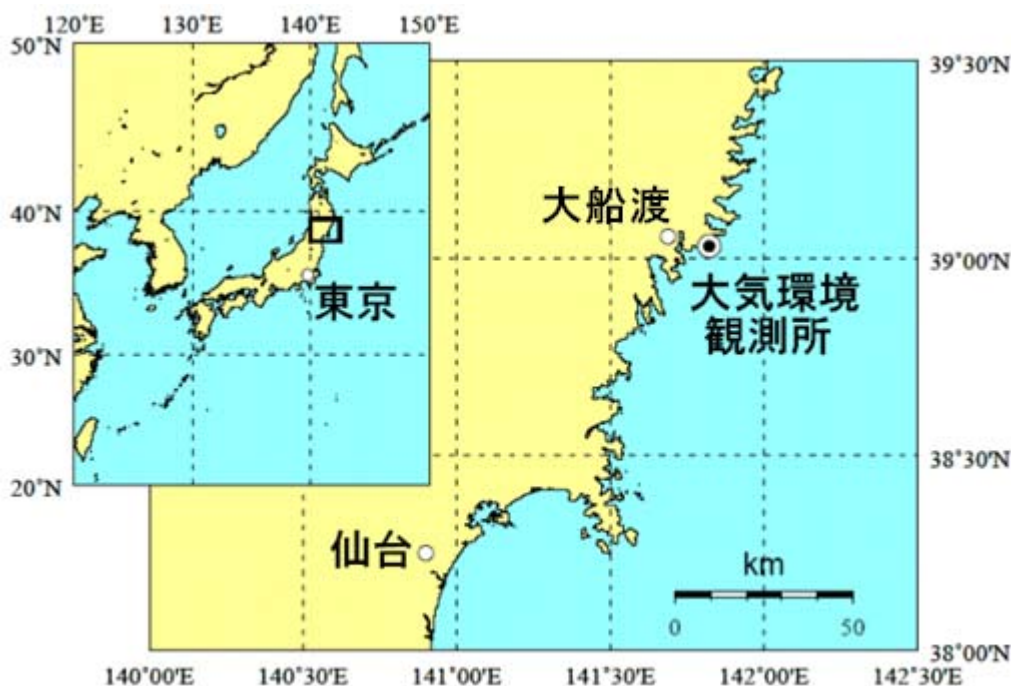


大気環境観測所について

大気環境観測所は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスをはじめ、上空のオゾン層を破壊する原因物質であるフロン類や、日射及び雲の生成への寄与を通じて気候に影響を与える大気中の細かなちり（エアロゾル）など、地球環境や気候に関連する大気中の微量成分の観測を実施しています。

- 場所 いわてけんおおふなとしさんりくちょうりょうり
岩手県大船渡市三陸町綾里



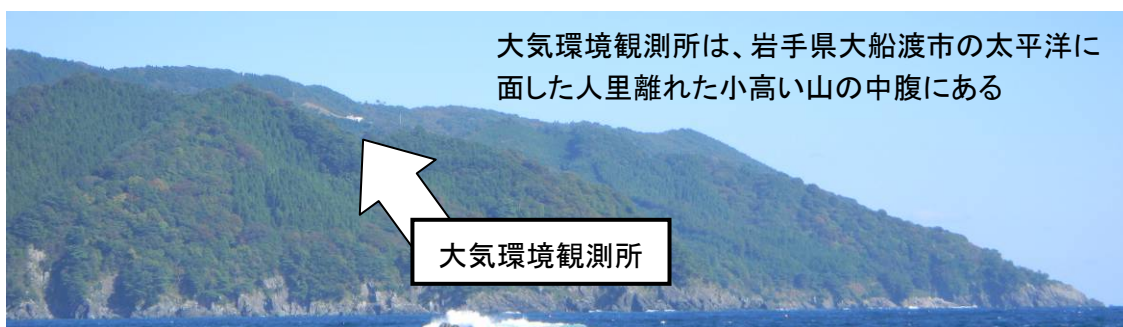
- 沿革

昭和 45 年 4 月 気象ロケット観測所として設置
 昭和 51 年 1 月 同所で大気バックグラウンド汚染観測業務（大気混濁度、降水降下じん化学成分）を開始
 昭和 62 年 1 月 二酸化炭素濃度の観測を開始
 平成 2 年 1 月 フロン類、地上オゾン、一酸化二窒素の観測を開始
 平成 3 年 1 月 メタン、一酸化炭素の観測を開始
 平成 8 年 7 月 組織再編により観測部観測課高層気象観測室気象ロケット観測所と観測部環境気象課大気環境観測所に分離
 平成 14 年 3 月 エアロゾル鉛直分布観測を開始
 平成 14 年 4 月 気象ロケット観測所廃止、大気環境観測所は継続
 平成 17 年 7 月 組織再編により地球環境・海洋部環境気象管理官付大気環境観測所に改称

○ 観測種目と観測開始年

主要な温室効果ガス	二酸化炭素(CO ₂)	昭和 62 年 1 月
	一酸化二窒素(N ₂ O)	平成 2 年 1 月
	メタン(CH ₄)	平成 3 年 1 月
温室効果ガスの生成・破壊に影響を与える微量ガス	地上オゾン(O ₃)	平成 2 年 1 月
	一酸化炭素(CO)	平成 3 年 1 月
オゾン層を破壊する原因物質(温室効果も持つ)	クロロフルオロカーボン類(フロン類) (CFC-11、CFC-12、CFC-113)	平成 2 年 1 月
	1,1,1-トリクロロエタン (CH ₃ CCl ₃)	平成 3 年 1 月
	四塩化炭素(CCl ₄)	平成 3 年 1 月
大気中の細かなちり(エアロゾル)など	降水・降下じん化学成分	昭和 51 年 1 月
	エアロゾル光学的厚さ (大気混濁度観測)	昭和 51 年 1 月 (現装置での観測は 昭和 63 年 1 月)
	エアロゾル鉛直分布	平成 14 年 3 月

○ 大気環境観測所の全景及び観測の様子



温室効果ガスなどの観測のため大気試料を取得する大気採取塔(20m)を設置している(左)。

温室効果ガスなどの大気中の微量成分を観測する装置(中、右)。